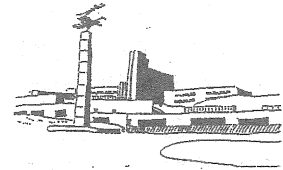




会の告知板



役員異動

第2代当代会長 高橋勤さんが健康上の理由から任期半ばで辞意を表明していたことから、3月14日緊急役員会を開催し、これを受任して、後任に帆角信美さん(現事務局長 36年・法)を、その事務局長の後任に平山正徑さん(40年・政経)をそれぞれ選任した。本件は4月4日第10回定時総会において正式に承認された。

5月29日(土) 東京六大学春季リーグ早慶戦観戦会 (詳細添付別紙参照)

6月6日(日) 定期役員会 13:30~14:45 中央公民館

東久留米雑学塾(第13回) 15:00~16:45 中央公民館第1・2集会学習室

演題 「宇宙・地球・人間」

講師 はやしただし氏

(童話作家 清瀬稲門会会員 37年文卒 早稲田大学エクステンション講師等を経て、現在は日タイ農業友好協会、健脚観音友の会等の会長。創作童話、科学マンガ台本から艶笑小説まで幅広い著作活動をされ、英文翻訳の「ロビンソン・クルーソー」は現在70版、松本零士著「銀河鉄道999」を小説化した「銀河鉄道999」(全4巻)は青春文庫となって70万部に迫っている。特に小説「女が匂う女」はすでにテレビドラマ化され、童話では「刀をきる刀」や「春がつれてきた男の子」が有名)。

入場無料

7月25日(日) 第7回ウォーキングを楽しむ集いー武蔵嵐山巡り (詳細次号掲載)

31日(土) 第7回映画サークル 14:00開演 市役所市民プラザ

上映作品「心の旅路」 監督 マーヴイン・ルロイ 主演 ロナルド・コールマン、グリア・ガースン

(詳細次号掲載)

[部会スケジュール]

グルメ部会 6月26日(土) 第6回グルメ探訪 -手打ちそばを楽しむ会

西武狭山線・下山口駅「狭山 翁」(詳細は添付案内書参照)

書道部会 毎月第2日曜日 13:30~16:30 中央公民館2F集会学習室

太極拳部会 毎週土曜日 10:00~12:00 成美教育文化会館1F

俳句部会 5月30日(日) 13:30~17:00 中央公民館2F第5集会学習室

兼題: 「蓮」 「当季雑詠」 各1句

後続年間スケジュール: 7月4日、9月5日、10月31日(一泊二日吟行)、

12月19日(兼忘年会)

囲碁部会 毎月第4日曜日 13:30~16:30 成美教育文化会館

カラオケを楽しむ集い 5月29日(土) 18:00~ シダックス東久留米店、前沢(滝山団地入り口)

(詳細添付案内書参照)

会長辞任にさいして

高橋 勤

今年の総会は第10回目を迎えました。当稲門会の設立以来、初代安宅会長のもとで事務局長を務め、のち会長職を引き受けて足掛け10年、会の運営に携わって来ました。

当会は前安宅会長の時に、会の基礎があらゆる面で確立し、その方向性も定まりました。このことは前会長の功績だと思っています。私は会長に就任し、これらの実績を引き継ぎ発展させて行くことが、私の務めかと思っています。

そのために、会長就任と併せて、五つの新しい事業の立ち上げと部会の増設を計画しました。新しい事業を始めるにも、部会を増やしてゆくにも予算を必要とします。財政の建て直しが急がれる課題でした。ポストマン制度を導入し、同時に東稲ニュースを隔月に発行することにしました。東稲ニュースの主な目的は、会の行事、部会のスケジュールの案内、活動報告等の情報を会員の皆様に提供することなのです。ポストマン制度と東稲ニュースの発行が通信費の削減に大きな力となっているのです。

三番目にはホームページを開設したことです。機関紙「杜の西北」と相俟って当会の広報活動の面で厚みと幅を増すことになりました。

次に当稲門会の目的の一つである地域社会への貢献、文化的貢献をするために、東久留米雑学塾の講演会と映画鑑賞会を公開することにしました。雑学塾は専門分野の講師を招き、一般市民に呼びかけて講演会を隔月に行っています。映画鑑賞会は第1回の映写会を一昨年の11月に開催し、昨年度は3回、今年は1月と4月に上映しました。一般市民の参加が増加しており、市民の登録名簿は100名になろうとしています。

稲門会活動の基本は部会活動にあります。部会の活性化、部会員の増強が会と組織の強化につながっていきます。太極拳、グルメ、郷土研究会、ウォーキング会、麻雀等々部会の増設に努力してきました。

これらの新しい事業をスタートさせ、部会を新設していくに当たって、私が独断に走ることもあり、時には強引にことを運んだ面もあったかと思えます。これらの事業が順調に軌道に乗ったのは役員並びに会員の皆様の協力と努力のお蔭で成功したのです。ここに深く感謝し、御礼申し上げます。

最後に、私、健康面の問題と、第10回総会を迎え区切りの良いところで、会長職を退くことになりました。今後とも会のお役にたつことがあれば、微力ながら協力を惜しみません。会の益々の発展を祈念いたします。

新任挨拶

東久留米稲門会会長 帆角 信美

高橋会長が健康上の理由で4月4日(日)開催の第10回定時総会において任期途中で辞任され、はからずも私が会長に就任することになりました。あまりにも突然のことで、現在戸惑いが半分、不安が半分といった心境です。はたしてどの位皆様のご期待に沿えるかわかりませんが、初代の安宅会長、2代目の高橋会長が築いてきた路線を大切に守って、新しく事務局長に就任した平山さん、役員部会長の方々のご支援を受け、任期まで何とか

全うしようと思っています。

この会の基本は、会員の皆様の相互の親睦を深め、会員の皆様が会員になって良かったと思える雰囲気をいろんな場面で作るところにあると考えています。役員や部会長の皆様と一緒に、楽しい雰囲気づくりにこれからも知恵を絞って取り組んでまいります。引き続き会員の皆様のご協力をお願い致します。会主催の行事やサークル活動にどんどん参加して、皆様のお力で会を盛り上げてください。

東久留米稲門会事務局長 平山正徑

4月4日(日)開催された総会において、高橋会長が健康上の理由で辞任されたことを受けて帆角事務局長が会長に就任し、空席になった事務局長に私が就任することになりました。前事務局長はその動きの良さ、顔の広さ、喋りの上手さ、押し出しの強さ、そして面倒見の良さは天下一品でしたから、後任の人は大変だなと常々思っていました。それが何と自分にこの役割が回って来るとは思ってもみませんでした。私は入会歴5年目ですが、この間多くの愉快的同窓諸氏との交流、各種催しへの参加で常に楽しい時間を過ごさせて頂きましたが、特に女性の活躍には目を見張るものがありました。当稲門会は女性が会の企画運営、部会活動、広報活動に活かされていて今後とも女性パワーの増幅が不可欠なものとして認識しております。とにかく微力ではありますが精一杯やって参りますので、皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

会の行事

第10回東久留米稲門会定時総会開催

4月4日(日)午後3時30分より成美教育文化会館において、村岡洋一早大副総長、桜井直子総長室調査役、近隣稲門会、東久留米三田会より来賓11名の臨席を得て、67名の会員出席の下、第10回定時総会が開催された。平成15年度事業報告、同収支決算報告、同監査報告があり承認可決、続いて平成16年度事業計画、同収支予算案および高橋勤氏会長辞任に伴う役員異動(前出)が上程され、いずれも承認可決された。

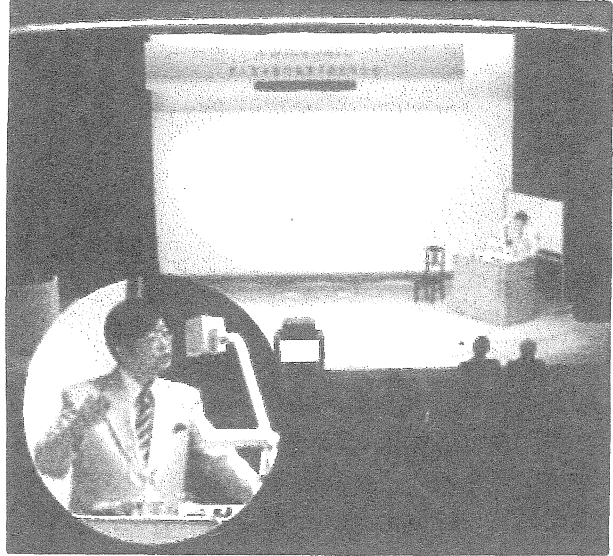
総会後の懇親会では恒例のビンゴゲームを楽しみ、賞品を獲得したラッキーマンの笑顔が溢れる中、最後に「都の西北」を出席者全員で斉唱し、全日程を終了した。

平成16年4月4日
東久留米稲門会第十回定時総会



東久留米稲門会講演会 川村晃司氏 「ワイドショウ政治の舞台裏」

4月4日(日)総会に先立って、テレビ「ワイド・スクランブル」でお馴染みの川村晃司氏(当会会員 48年文)、テレビ朝日に入社後中東・アフリカ特派員(カイロ支局長)、ニューヨーク特派員などを経て、現在TVコメンテーターとして活躍中。著書に「戦場記者の10年」「イラク戦争、検証と展望」などがある)による(演題)「ワイドショー政治の舞台裏」の講演会が開催された。生々しいTV報道の苦楽の舞台裏を図表(スライド)、ユーモアをまじえ面白可笑しくお話を展開された。多数の一般市民を含む約300名が熱心に傾聴した。(追って全文講演録を発刊予定。詳細ご参照下さい。)



ウォーキング会

―世田谷豪徳寺から羽根木公園・観梅散策―

梅、観ごろ。3月5日(金)、初めてウォーキングの会に参加しました。総勢18名。世田谷の豪徳寺を起点に、比較的平坦で、楽な徒歩6km、所要時間3時間のコースでした。ウォーキングには脚力、体力の増進と爽快感があり、思索と風物に触れ合う愉しみがありません。また、夫々の地には歴史が刻まれており、歴史の重みと深厳なる気分が体感できます。

さて、今回のコースは山の手の閑静な住宅路。世田谷城主 吉良政忠が500年前に建立し、後に井伊家の菩提寺となった曹洞宗禅寺<豪徳寺>をはじめ寺院(3ヶ所)、松蔭神社など神社(3ヶ所)、城址、公園ありの、そして世田谷区役所、国士舘大学等を傍観しながら



らの密度の濃い内容でした。松下村塾を模した建物や墓石、井伊直弼、吉田松陰、桂太郎が隣り合わせに眠っているのも往時を偲ばせ感慨深いものでした。コースの終着駅は「羽根木公園」。700本の満開の梅の樹の下、弁当を開きながら、サークル会長の土屋さんが持参した早稲田の酒で“梅見て一杯”と傾けたのも風情のある光景でした。

ウォーキングの会。そこには「ロード・ムービー」のドラマのように、歩きあり、見学（観賞）あり、飲食あり、思索あり、そしてトータルとしてのコミュニケーションが生まれます。楽しい1日を過ごさせていただきました。（米光慶二郎記）

—都心のツツジを求めて・駒込駅から六義園・根津神社—

4月29日みどりの日、大型連休の初日は終日雲一つない絶好の日和に恵まれた。今回の探訪のテーマは「都心のツツジを求めて—JR 駒込駅から根津神社」です。駒込駅を降り立つと両側の土手にはツツジがびっしり植えられ今年も満開。まことに見事、手入れをされる駅員さんには感謝感謝。新緑の六義園から本郷通り沿いを南下して「一富士二鷹三茄子」の富士神社。広大な敷地に歴史を感じる吉祥寺では昨年引退した三塚博元蔵相、外相の葬儀が盛大に行われていた。更に南下して養源寺、夏目漱石の旧居跡を過ぎ根津神社へ。予想通りの大変な賑わいで、早々にツツジを横目に通り抜けて東大キャンパスへ向い安田講堂前の木陰で昼食となった。昼食後、三四郎池を通り抜け春日通りへ。春日局の墓がある麟祥院や土蔵造りの講安寺に立ち寄り旧岩崎邸庭園へ。正に豪華巧緻を極めた建物。先の深川清澄庭園、今日の六義園、この岩崎邸庭園を所有した岩崎弥太郎、東大講堂を寄贈した安田善次郎、往時の権勢をうかがい知ることが出来た。メは上野広小路、初夏の陽気に冷えたビール、冷酒がひとしおであった。

付記 参加者21名（内女性7名）、祝日緑の日の為、六義園 旧岩崎邸庭園 無料開放
（松崎 博記）



第6回映画サークル — 『哀愁』

好評裏に開催されてきた本映画鑑賞会も数えて早、6回目となった。4月24日(土) 市民プラザに於いて、ヴィヴィアン・リー、ロバート・テイラー主演、監督 マーヴィン・ルロイの「哀愁」を上映。

120人余のオールド映画ファンが詰める満員の会場は、米光会員の軽妙な解説に始まった往年の名画に酔った。

大学・校友会の行事



第2回東久留米三田会開催

東久留米三田会の第2回定時総会が4月18日(日)午後1時30分から成美教育文化会館で開かれた。当会から帆角会長、菱山・松崎副会長が来賓として出席し、三田会の方々と親しく懇談、今後相互の交流を活発化させることを確認した。

東久留米三田会幹事長 金田政也氏から下記メッセージを頂戴しています。

昨年4月に東久留米三田会が発足し1年が経ちました。4月18日に成美教育文化会館にて開催された第二回総会には、東久留米稲門会より帆角会長、松崎副会長、菱山副会長のお三方にもご列席いただき、まことにありがとうございます。

現在会員数は108名で、年代的には上は昭和16年卒業の会員から、下は平成15年卒までと幅広く、平均年齢の若さは地域三田会でもトップクラスと自負しております。女性会員も15名おり、内5名が副会長以下役員に就任しています。

当会は、各種同好会や大学への寄付の手法などにつき、東久留米稲門会の手法を大いに参考にさせていただいており、今後はゴルフでの早慶戦など、両会共催の交歓・交流行事を希望しておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

東久留米三田会 幹事長 金田 政也

部会便り

囲碁部会

当部会の直近の動きとしては、早稲田大学及びOB関係者より「稲穂会」なる囲碁会への誘いがあったこと。この会は、現在にぎにぎしく行われている「オール早稲田囲碁祭り」より歴史は旧く、現役囲碁部員を交えたOB有志の会である。開催日時は平成16年6月6日(日)、場所は早大新学生会館となっている。当部会としても精鋭を募り、積極的に参加することを考えています。

(部会長 辰己 徳蔵)

女性サークル部会

4月23日(金)、2004年度第1回例会を市民プラザにて開催しました。出席者6名で、今年度9月までの活動予定を決め、6月の例会では、明治神宮に菖蒲を見に行くことになりました。女性会員の皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

(部会長 石寺美弥子)

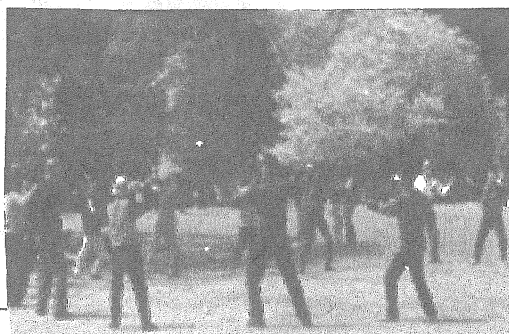
(編集部注) 本年度 吉川明美さんよりバトンタッチし石寺さんが部会長に就任しました。

太極拳部会

4月3日(土) 稲荷山公園にて花見を兼ねて野外演舞を開催。絶好の春うらら、素晴らしい天候に恵まれ、花吹雪に感激して、最高の一日でした。

晴れ女、晴れ男に万歳!

近くみて身に降り注ぐ花吹雪 (部会長 船尾和巳)



ゴルフ部会

4月23日(金) 春季コンペが浦和ゴルフ倶楽部で催されました。前日の真夏日と打って変わり、薄日の差す、暑くも寒くもなく、風は凩いで絶好のゴルフ日和でした。

1組が9時30分ティーオフ、出場者14名全員張り切ってスタートして行きました。枯れ芝が半分緑に変わり、ティーグラウンド脇や通路にはツツジが咲き始め、フェアウェイの両脇の木々は新緑に覆われる中を、池ポチャ、大空振り(優勝者のこんな始めて見ました、当人もそう言ってます)など好プレー、珍プレー続出、ワイワイガヤガヤ、気心の知れた仲間同士、至福の極みでした。この歳になってもゴルフが楽しめるという事は

幸せ者と思わねばいかんと言うのが一致した意見でした。優勝森本博文さん、準優勝 小生、3位 太田晴之助さんでした。新ペリヤ方式の為、1位、3位は実力通りですが、私の場合はあれだけたいて、たまたま隠しホールが当たったからだと思います。

世話役の方々いつも大変ご苦労様です。今回は非常に近い所を取って頂いて、行きも帰りも早く楽でした。今後も近い所がいいですね。それから以前決めてあったハンデ(少し改定しても良い)でやった方が面白い様に思われます。今後も年2回以上は続けて下さい。

(白石春雄記)



俳句部会

○3月21日(日) 第54回句会 兼題「菜の花」、「当季雑詠」各1句 席題「彼岸」1句
高得点句(4点句以上)

欠伸して欠伸うつして春うらら	馬場 清彦
墨磨って墨の香に居る彼岸かな	三田 三(畔巢)
白木蓮に三面鏡を開け放つ	棚野 愛子
群青の海を真下に藪椿	三田 三(畔巢)
菜の花やローカル線の一人旅	河村 洋子

○4月18日(日) 第55回句会 石神井公園吟行

寒くなく暑くなく、陽光溢れ若葉が薫る風爽やか。絶好の日和に恵まれた4月18日、16名の参加者を得て練馬区谷原の長命寺と石神井公園を吟行した。長命寺は別名東高野山とも呼ばれる真言宗豊山派の古刹。数多くの石灯籠、石仏が並び八面朱塗りの観音堂も建つ境内には枝を大きく伸ばした八重桜がゆさゆさと咲き誇っていた。

石神井公園には石神井池と三宝寺池が並んでいるが句材は三宝寺池のほうが豊かである。嘗ては石神井川の水源として武蔵野の田畑を潤してきた豊富な湧水こそ痩せてしまったが、葦や睡蓮、河骨、杜若などの沼沢植物を縫って水鳥が泳ぎ、亀が甲羅を干している。若葉が美しい椴、樺、こならなどの林には小鳥の囀り。池の畔には鎌倉、室町の頃に築城され、太田道灌に滅ぼされた石神井城跡があり、対岸には落城の際この池に入水したと伝えられる城主豊島氏とその次女を悼んだ小さな塚もひっそりと建っていた。

各自句帳を片手に木道で整備された池を巡りながら句をひねり、推敲を重ねた吟行句三句を携えて午後一時に会場である石神井公園駅近くの石神井庁舎集会室に集合、四時半まで春の吟行句会を楽しんで散会した。

(三田 三 記)

高得点句(4点句以上)

ひっそりと樹下に姫塚母子草	三田 三(畔巢)
人佇てば人を映して春の水	太田蔵之助(千雪)
八重桜古寺の小さき仁王門	河村 洋子
春昼や池の茶店の酒一合	神田 尚計
しだれ柳模型汽船くぐりゆく	橋 正治(雅契)
照姫の入りし水辺に著莪の花	太田蔵之助(千雪)



カラオケを楽しむ集い

今までのカラオケ部会を「カラオケを楽しむ集い」と改称し、世話役を引き受けることになりました。歌うことはストレスを解消し、免疫力の低下を防止することも確かなようです。歌のジャンルは制限いたしません。楽しい会にしたいと思っています。

河村洋子(41年・教)

*前号グルメ部会欄で、「笹の雪は、約32年前の元禄4年創業...」は320年前の誤植でした。お詫びして訂正します。

<会員リレーエッセイ>

噴水広場

安宅 武一(28年・商)

雨水貯溜システム

昨年の夏は本当に暑かった。六月下旬から八月上旬にかけてさっぱり雨が降らず、庭はからからに乾き、植木はどれもこれも悲鳴が聞こえるようであった。

幸い春に完成させた「雨水貯溜システム」(何と大袈裟な!)が大いに物を言って、朝晩の散水、害虫駆除のための農薬散布、網戸の洗浄、玄関の掃除等に水道の水を殆ど使用しないで済ませることが出来た。

東京の過去十年間の年平均降水量は1460mmである。月平均では最も多い月は九月で、193mmの雨が降っている。次は六月と十月が同じで181mmと続く。台風による大雨、梅雨そして秋の長雨とそれぞれ納得出来る。

我家の屋根の面積は、平面図で101.37㎡である。従って屋根に降る降雨量は年間148㎡ということになる。驚くべき量である。

我家の月平均使用量は約18㎡である。従って九月中に屋根に降る量の方が多い。また一年間に屋根に降る雨の量は、年間の水道使用量の約70%に相当する。これが全部樋を伝って下水に流されているわけである。

神戸に住む友人の話では、あの震災のとき、一番弱ったのは水道が止まったことだそうだ。幸い家屋の被害には遭わなかったが、水がないことには生活が出来ない。

炊事は当然のこと洗面、洗濯、トイレがストップ。友人の毎日の日課は往復15分もかけて、何回

となく水を汲みに行くことであつたそうだ。

屋根に降り注ぐ雨水を利用するには樋を伝って落ちてくる雨水を途中から方向を変えて大きなバケツに受け、溜めておけばよい。至極簡単そうなことだ。

だが細部を詰めて行く種々の工夫が必要であることが解つて来た。

- ① 垂直に落ちて来る雨水をどうやって方向を変えるか
- ② どの辺りから(地表から何cmの高さから)変えるか。
- ③ 導水樋をとりつけるにしても、既存の樋との関係をどうするか。
- ④ 何に貯溜するか。容量はどの位のものを用意するか。

家内の友人で、これを見事に実現したお宅があるというので、二人して見学におうかがいした。大いに参考になった

日曜大工センターの樋のコーナーには実に便利な物を売っている。エルボと称する曲がつた継ぎ手である。方向を変えるにはこれが必要であつたのだ。

70ℓの蓋付のポリペール(大型バケツ)も六個購入し、一か所に二個ずつ据え付けた。

雨が降って来ると既存の縦樋を少し下げて、隙間を作りエルボを付けた導水樋を取り付ける。垂直に落ちていた雨水は、立ち所に方向を変えポリペールに溜まり始める。

激しい俄か雨なら70ℓのポリペールが六個とも一杯になるのに30分もかからない。

実際にやって解つたことは降り始めの雨水は、非常に汚れていることである。空気中の埃も、屋根のごみも全部運んで来るからだ。が、やがて清澄な真水に変わって来る。飲むわけではない、これで十分なのだ。

従つて雨水貯溜システムは、雨が降り出したからといって慌てて稼働させる必要はない。汚れた

雨水は下水に流しておいて、やがて綺麗な水に変わって来るまで、ゆっくり構えていてよいのである。いずれにしる作業には雨でびしょ濡れになる覚悟は出来ているのだから。

会員の声



吊し雛のこと

榎本幸子 (26年・教)

伝承小物の一つに吊し雛があることは広く知られているところです。これは縮緬細工とも呼ばれ江戸時代より受け継がれており、その一つひとつが手に乗るほどの大きさで丹念に手作りされ、雛祭りの人形の傍らに吊るされて今日に至っております。近郊では伊豆稲取の吊し雛が有名で、早咲きの河津の桜と抱き合わせてのツアーが人気を呼び、少しずつ縮緬細工の良さが見直されて来ているようです。

昔人は、着物に使った縮緬などの残り布を縫い合わせ、花、鳥、動物、人形、玩具などを作り、小さな布切れを大切にするという心を養うと同時に、子供が丈夫に育つよう祈りを込めて作り与えたものであると聞いております。“柿の実が赤くなると医者が青くなる”—真赤な柿を縫いながら、なるほどと合点のいくこともしばしばで、子供に心寄せる愛情は今昔を問わず不変なものであることを思い知らされたりしております。何種類もの小物を扱っておりますとその美意識の優れていることも驚きの一つです。

この春から福祉施設の一隅で吊し雛の講習会が開かれています。どなたでも参加できますのでどうぞ。(問い合わせ先: 090-8809-8207 トザワ 市内南町4-10-26)

東稲広報室

○平成16年度新入・再入会員

(敬称略・五十音順)

氏名	住所	電話	卒年・学部
池田 実(再)	所沢市若狭2-2580-85	(042) 948-1194	31年・政経
上野 烈	滝山6-3-5-304	72-6952	41年・政経
北野 直衛	柳窪2-15-23	73-9673	39年・文
田島 薫	本町3-1-41-907	76-4231	(非掲載希望)
長束 輝夫	南沢5-4-10	64-1381	50年・政経
新田 慶治	八幡町1-7-23-303	72-9148	33年・理工
村野 建彦	前沢4-18-10	76-2829	42年・政経
矢部不三雄	神宝町2-10-7	73-0776	27年・教
山口 道成(再)	滝山4-2-11	75-7447	32年・理工

- ホームカミングデー・稲門祭が10月24日開催されます。本年の大学招待対象者は卒業後25・35・45・50年目の校友です。稲門祭では盛りだくさんのアトラクションほか、恒例の福引抽選会も催されることになっており、既に福引券が発売されています。当会にも多数の福引券購入割り当てが来ておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

- 会員辰巳徳蔵さんご令嬢による「辰巳京子ピアノリサイタル」が5月28日(金)、かつしかシンフォニーヒルズ「アイリスホール」にて19時より開演されます。開場は18:30。入場料:3,500円(前売り3,000円)。お問い合わせは辰巳さん(TEL 23-1001)まで。

<訃報> 小野塚博さん(26年商、滝山)が4月4日の総会ご出席後心不全にて急逝されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。規定により当稲門会より献花をさせていただきました。奥様より下記書状が寄せられています。

稲門会の皆様方へ

此の度 夫小野塚博の死去に際しましてお心遣いを賜り誠に有難うございました。稲門会に入れて頂き、皆様にお逢い出来数々の楽しい思い出を胸に旅たつたことと思ひます。お世話になりましたこと心から感謝申し上げます。気温の変動の大きいこの頃、お体おいとい遊ばしましてお健やかに過ごしてくださいませ。

平成16年4月19日 小野塚 恭子

[編集後記] いたずらに古いものを佳しとするのではないが、早大の著名な某教授が「手鏡」の持つ雅なイメージを台無しにした責任は小さくない。授業料を返せ払いたくないという学生の気持ちはむべなるかなである。未払いと言えば、閣僚をも含む議員先生方の年金保険料未納も連鎖的に発覚している。一体、日本のエライさんの品格や理性や情緒・美意識は何処へいったのだろうと思う。五月の青空に風をいっぱいはらみ、命の讃歌を歌うがごとく勢よく泳ぐ鯉幟は実に優雅で美しかった。

真上なる鯉幟まづ誘ひけり (中村汀女)

